



宮原小学校コミスク通信

令和 4年
6月27日
No.2
学校運営協議会

児童会目標

みんなで応援!! あきらめない心!!

5月29日(日)、好天の下、令和4年度 宮原小学校運動会が開催されました。今年度も、コロナウイルス感染拡大防止のため、午前中のみ開催、観覧者数の制限などを行いましたが、児童たちは、強い日差しや暑さの中で、保護者の方にかっこいいところを見てもらおう、運動会を成功させようという思いで最後まで一生懸命生き生きと活動しました。

低学年のかけっこ・徒競走、高学年のリレー、学年種目、綱引き、全校児童と先生方参加の盆踊りが行われました。短い練習時間だったと思いますが、子どもたちは仲間や保護者の皆さんの温かい拍手や声援の中、一つ一つの競技に全力で取り組み、練習の成果を十分に発揮しました。最後まで全力で走ったり競技したりする姿、自分の担当する係の仕事に一生懸命取り組む姿、拍手や励ましの言葉で応援する姿など、素晴らしい場面をいくつも見せてくれました。心一つにして最後まで全力をつくす児童や先生方、学校が示したガイドラインを守り温かい拍手を送る保護者の方々の姿がとても印象的でした。今年度は勝利をつかんだのは白組でしたが、勝敗に関係なく、運動会の取り組みを通して、子どもたちは多くのことを学び、人と繋がる喜びを感じ、一つのことを皆でやり遂げた大きな達成感は、本人の自信と次へのステップアップになることと思います。半日でしたが、みんなの思いや頑張りがぎゅっと詰まった、感動いっぱい笑顔いっぱいのすばらしい運動会でした。



6年生ドローンで記念撮影

6年生 出前授業「地域の農産物」について

6月2日(木)に、総合的な学習(地域学習)の一環で、有田振興局の職員さん2名と、宮原小学校の保護者で、宮原町東でいちご栽培を行っている松本智行さんをゲストティーチャーにお迎えして、出前授業を行っていただきました。この日の授業のめあては、『地域の農産物と生産者の方の思いを聞き、自分の思いや考えをもつ』でした。職員さんから、和歌山県や有田地域で作られている農作物の種類や生産量、みかんの生産過程、有田みかんシステムが日本農業遺産に認定されていること、和歌山県のいちごの栽培状況や主な栽培品種等について、パワーポイントを使い、時々クイズも交えながら、分かりやすく楽しく教えていただきました。松本さんは、和歌山県のいちごの良さや特徴を広めてほしい、将来いちごも和歌山の特産物の一つになってほしい、いちごはそのまま食べるので農薬は使いたくない(無農薬で栽培)、食べた人から「おいしかったよ!」という反応が返ってくるのを生きがいにいちご作りを頑張っているなど、生産者としての努力や思いについて話してくださいました。子どもたちは、お二人の話に興味深く耳を傾け、しっかりとメモを取っていました。和歌山県は、有田みかん以外にも梅、桃、柿、いちごなど、温暖な気候を生かして様々な種類のフルーツが栽培されていて、まさに「フルーツ王国」。私たちは、春夏秋冬を問わず、いつでも地元産の新鮮なフルーツを楽しむことができますということです。和歌山県の恵みに感謝です。



6年生 いちご狩り体験

今年度も、6月15日に『いちご狩り体験』が実現しました。3年前、松本智行さんが、「コロナの影響で、楽しみにしていた行事がどんどん中止になっていくので、せめて6年生には楽しい思い出を残してやりたい。」との思いで、自営のいちご農園に6年生を招待してくださいました。それ以来、毎年、6年生はいちご狩り体験をさせていただいています。

子どもたちは、いちごハウスに到着して挨拶をすませると、松本さんからおいしいイチゴの見分け方や、ハウスの中での注意点等を聞いた後、早速、おいしそうないちごを求めてビニルハウスの中へ。松本さんが栽培しているのは、和歌山県のオリジナル品種『「まりひめ」』といういちごで、無農薬で栽培されているので、摘み取ってそのまま食べられます。子どもたちは、赤く熟したおいしそうないちごを探して、口いっぱいにはおぼって、「めっちゃ甘い!」「めっちゃおいしい!」と言いながらたくさんいただいていた。中には、「こんなにたくさん食べたの初めてかも。」「70個ぐらい食べた。もう腹いっぱい。」と言いながらおなかをさすっている子もいて、みんな大満足の『いちご狩り体験』だったようです。



出前授業やいちご狩り体験を通して、子どもたちが地域農産物への関心が高まり、食の大切さや食を支える農業の役割について理解するとともに、食べ物や生産者への感謝の心や地域への愛着を感じるきっかけになればいいですね。



第2回学校運営協議会

6月21日、第2回学校運営協議会が行われました。今回は、学校評価、運動会及び県産果実（まりひめ）の授業の振り返り、学校行事予定等について説明と協議がおこなわれました。協議内容を抜粋します。

【学校評価について】

- 自己評価表は、先生たちをよくするためのもの
⇒ 良くなった点、効果を知りたい 続けていくことが大切である
- 読解力に弱さを感じるため、読解力をはかる『Reading Skill Test』を実施（5・6年生対象）して、子どもたちへのアプローチの方法を研究する。
- 読書活動を広げたい ⇒ タブレットを活用してはどうか？

【運動会の振り返り】

- 今年度の改善点（昨年度や予行練習の反省をもとに）
ピストルの改善、児童席のテント設営、時間配分
- 児童の走り方…先生方や外部コーチの指導の成果があった。
- 児童の係活動…それぞれの役割を一生懸命、立派に果たしていた。

【県産果実（まりひめ）の授業】

- 出前授業で、松本さんのまりひめに対する思いを学習したことで、体験を通して学びを深めることができた。
- 生産者の生の声を聞かせてもらった子どもたちは、とてもいい経験をさせてもらった。
- 子どもたちが考えを深め、食生活や地域の農産物について興味をもつきっかけになった。

【学校行事予定について】

- 主な行事について
- 自然教室（5年生）…10月5・6日
- 修学旅行（6年生）…10月21・22日
- 校内音楽会…11月12日に実施予定

【その他】

- みかんの摘果・収穫体験（3年生）
宮原町の畑で体験させていただきます。
- 想繫火…7月17・18日
- ・竹灯籠作り（5・6年生）…6月28日
- ・地域のワークショップ（宮原さん家で）
7月10日 10:00～12:00
14:00～16:00



※いちご狩り体験の児童の感想は、紙面の都合で、次回の「コミスク通信」で紹介させていただきます。

